

日本における野球選手の肘離断性骨軟骨炎に対する手術治療の現状

京都府立医科大学整形外科では、外来患者さんを対象に、日本における野球選手の肘離断性骨軟骨炎に対する手術治療の現状についての研究を実施いたします。この研究では、通常の診療または過去に実施した治療で得られた情報を用いて行います。実施にあたり京都府立医科大学医学倫理審査委員会の審査を受け、研究機関の長より適切な研究であると承認されています。

研究の目的

当院では最新の医療を患者さんに提供するとともに、病期を詳細に研究し、より有効な診断・治療方法の確立を目指しております。この研究では、当院も含め、多施設で実施した上腕骨小頭離断性骨軟骨炎（以下肘 OCD）の治療にあたる医師の背景と治療方針、手術症例の内容と症例数を全国的に調査することで、現在の日本における肘 OCD の治療の実態について検証します。この研究により、全国的な手術治療の現状を調査することが可能となり、より有効な治療指針が確立されると期待されます。

研究の方法

対象となる方について

2018年1月から2019年12月までの2年間に当院で肘 OCD に対して手術治療を受けた患者さん

研究期間：承認日 ～ 2022年8月31日

方法

セキュリティ対策をしている web 調査票に主治医が下記データを入力します。集積されたデータは、入力先、個人を特定できないよう処理し研究に用います。データ保管は、情報管理担当者が暗証番号付き外付けハードディスクを、鍵付き棚で保管し、研究終了後一定期間保管後に消去いたします。

・研究に用いる試料・情報について

情報：手術時期（○年○月）、年齢、性別、カテゴリー（小学生・中学生・高校生・大学生・レクリエーション・社会人・独立リーグ・プロ）、球種、ポジション、投球側、手術側、損傷程度、術式 等

・外部への試料・情報の提供

日本野球機構野球振興室へ肘 OCD の治療を行った患者さんの上記情報を Web アンケートで送信します。集計後、共同研究者へ集計結果を送信し、更に詳しい解析を行う予定です。提供の際、氏名、生年月日などの患者さんを直ちに特定できる情報は削除し、提供させていただきます。なお、本研究結果は、日本野球機構(NPB) や全日本野球協会(BFJ)のホームページ上で情報共有され、誰もが確認できる予定です。医学界へは、学会発表と論文投稿で、医療従事者へ情報共有されます。

・個人情報の取り扱いについて

患者さんの検査結果、カルテ情報をこの研究に使用する際は、氏名、生年月日などの患者さんを直ちに特定できる情報は削除し研究用の番号を付けて取り扱います。患者さんと研究用の番号を結びつける対応表のファイルにはパスワードを設定し、インターネットに接続できないパソコンに保存します。このパソコンが設置されている部屋は、入室が管理されており、第三者が立ち入ることができません。また、この研究の成果を発表したり、それを元に特許等の申請をしたりする場合にも、患者さんが特定できる情報を使用することはありません。なお、この研究で得られた情報は個人情報管理者（一般社団法人日本野球機構野球振興室 加古明美）の責任の下、厳重な管理を行い、患者さんの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

・試料・情報の保存および二次利用について

カルテから抽出した情報などの試料は原則としてこの研究のために使用し結果を発表したあとは、一般社団法人日本野球機構野球振興室 加古明美の下、10 年間保存させていただいた後、研究用の番号等を削除し、廃棄します。保存した情報を用いて将来新たな研究を行う際の貴重な情報として、前述の保管期間を超えて保管し、新たな研究を行う際の貴重な情報として利用させていただきたいと思います。新たな研究を行う際にはあらためてその研究計画を医学倫理審査委員会で審査し承認を得ます。

研究組織

(研究代表者)

國學院大學 人間開発学部健康体育学科 教授 富田 一誠

(研究責任者)

運動器機能再生外科学 助教 木田 圭重

(研究担当者)

徳島大学 整形外科 岩目 敏幸

山形大学 整形外科 宇野 智洋

JCHO 大阪病院 整形外科

轉法輪 光

高島平中央総合病院

可知 芳則

一般社団法人日本野球機構野球振興室

加古 明美

一般社団法人日本野球機構野球振興室

清水菜奈美

共同研究機関：

國學院大學、徳島大学、山形大学、JCHO 大阪病院、高島平中央総合病院

一般社団法人日本野球機構野球振興室

お問い合わせ先

患者さんのご希望があれば参加して下さった方々の個人情報の保護や、研究の独創性の確保に支障が生じない範囲内で、研究計画及び実施方法についての資料を入手又は閲覧することができますので、希望される場合はお申し出下さい。また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2022年8月31日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

連絡先

研究責任者

京都府立医科大学大学院医学研究科・整形外科学・助教 木田 圭重

京都府立医科大学 整形外科学 医局 075-251-5549